

Vol.98

Vol.98 (2024年 春号)

PMI 日本支部 ニュースレター

Best Practice and Competence / PM事例・知識 …	3
Stakeholders / 法人スポンサー紹介 ……………	5
Activities / 支部活動 ……………	8
PM Calendar / PMカレンダー ……………	10
Fact Database / データベース ……………	11

Best Practice and Competence / PM 事例・知識

- ◆委員会・部会活動内容紹介 3
 - ・女性コミュニティ

PMI日本支部 理事/女性コミュニティ 代表 小川原 陽子

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

- ・ AKKODiS コンサルティング株式会社 5

Activities / 支部活動

- ◆行政コミュニティの立ち上げについて 8

PMI日本支部 副会長 浦田 有佳里

PM Calendar / PM カレンダー 10

- ・ PMI日本支部関連セミナー等

Fact Database / データベース 11

PMI 日本支部ニュースレター Vol.98 2024年3月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局
 〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階
 E-mail：info@pmi-japan.org
 ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

◆商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。
 「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Office の商標又は登録商標です。

Best Practice and Competence/ PM 事例・知識

委員会・部会活動内容紹介

女性コミュニティ

PMI日本支部 理事／女性コミュニティ 代表 小川原 陽子

●はじめに

日本国内のPMP®保有者における女性の割合は約1割と言われており、実際のプロジェクトの現場でも女性プロマネはまだ少数派なのが現状です。皆さまが所属されている企業でも、現場のプロジェクトでプロマネを担当する方に限ると、入社時の男女比や社員数の男女比と比較して女性の比率が低い傾向にあるのではないのでしょうか？

当コミュニティは、女性プロマネやその候補であるリーダーの皆さまの活躍を支援し、後押しすることを目標に設立されました。定期的開催されるワーキンググループやイベントを通してスキルアップや社会貢献を行ったり、時には日常の悩みを話しながらゆっくりと交流を深めたりと、さまざまな活動を行っています。プロジェクトマネジメントスキルの研鑽やメソドロジーの学習に留まらず、キャリア開発の気づきやきっかけとなる、バラエティに富んだ活動を行っています。

●新春イベントでは書き初めに挑戦

1月20日に開催された新春イベントでは、過去に定例会で扱ったテーマの中でさらに掘り下げたいと要望が多かった

「女性の活躍」について議論しました。日本において指導的役割に占める女性の割合が諸外国と比較して低いのは何故なのか、この状況を変えるために何をすべきか活発な意見交換がなされました。

その後は新春恒例の書初めを行い、各々が1年の抱負を色紙にしたためました。日常生活で手書きをすることが少なくなっている中での毛筆に苦勞しつつも、メンバーそれぞれの個性と思いが込められた渾身の1枚が完成しました。

●国際女性デーで思いを語る

3月5日の定例会では、3月8日の国際女性デーにちなみ、「女性がプロジェクトマネージャーとして輝くために」をテーマとして、メンバーそれぞれの思いを語っていただきました。国際女性デーは、女性の権利を守りジェンダー平等の実現を目指すために制定された日であり、女性の社会的地位向上に向けて活動してきた方々を称える日でもあります。女性コミュニティは、さまざまな生き様から学び、共感し、女性PMの活躍が当たり前になる社会を目指しています。



Best Practice and Competence/PM事例・知識

■委員会・部会活動内容紹介

●今年^の活動予定

女性コミュニティは、4つのワーキンググループを軸に活動しています。

WG1はコミュニティサロンと称した月に1回の定例会です。テーマはプロジェクトマネジメント関連や女性活躍についてなどのメインテーマに加えて、お楽しみ企画を盛り込むこともあります。定例会はオンラインツールとブレイクアウトルームを駆使したりリモート運営が基本となっています。

WG2はスキルアップ、キャリアアップに特化した活動を行っています。コミュニティ設立当初より「女性プロマネ100人インタビュー」を継続しており、プロマネとして、またはプロマネを目指して活躍している女性の思いを共有して

います。また、プロジェクトマネジメントに関する実務的な勉強会を通してスキルアップを目指しています。

WG3はソーシャルインパクトをテーマに、SDGsに貢献する活動を行っています。昨年は、「脱炭素」をテーマに循環型社会を目指す活動を実施しました。今年も昨年以上に活発な活動ができるようにテーマの選定を進めているところです。

WG4はコミュニティ運営です。定例会やイベントの企画運営、メンバーの「知りたい」、「やってみたい」を形にするための情報収集や発信を行っています。年に数回開催されるオフラインイベントでは、季節感あふれる企画でメンバー間の交流を深め、新たな繋がりを構築しています。

WG1 : コミュニティサロン	WG2 : スキルアップ！キャリアアップ！	WG3 : ソーシャルインパクト	WG4 : コミュニティ運営
<ul style="list-style-type: none"> • 全員参加の定例会 • プロジェクトマネジメント関連や女性活躍についてなどのメインテーマ+お楽しみ企画も！ • 運営メンバーが持ち回りでファシリテートを担当 • オンラインツールとブレイクアウトルームを駆使したりリモート運営 	<ul style="list-style-type: none"> • スキルアップ、キャリアアップに特化した活動を実施 • 女性プロマネインタビューに同席することで刺激や気づきを得ることも 	<ul style="list-style-type: none"> • SDGsに貢献する活動を実施 • 本年は「脱炭素」をテーマに循環型社会を目指す活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> • 定例会やイベントの企画、運営 • メンバーの「知りたい」「やってみたい」を形にするために、プロマネスキルを活用 

2024年も女性コミュニティは精力的に活動していきます。以下のURLから新メンバーの申し込みができるようになっていますので、是非とも皆さまの所属企業の女性社員に当コ

ミュニティを紹介いただきますようお願い申し上げます。

<https://www.pmi-japan-women.net/register>

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

AKKODiS コンサルティング株式会社

●日本の課題解決に取り組む、AKKODiS コンサルティング株式会社

「プロジェクトマネジャーが不足している」

PMIからも示されたことがあるように、国内のプロジェクトマネジャーは不足しています。この問題の背景には、様々な要因が絡み合っています。ビジネス環境の変化、技術革新に伴いプロジェクトが複雑化し、数そのものが増している現状からプロジェクトマネジャーの需要が高まっています。また、複雑なプロジェクトの推進に求められるスキル、経験者不足、人材育成の難しさ等といった課題に対してAKKODiS コンサルティング株式会社（以下、AKKODiS）がどのように立ち向かっているのかご紹介いたします。

AKKODiSは、「日本を、課題解決先進国に。」をビジョンに掲げ、コンサルティング、ソリューション、アカデミー、タレントの4つのサービスを展開しています。ここでは、アカデミーサービスにおけるプロジェクトマネジメント研修に焦点をあてて説明いたします。



www.akkodis.co.jp/

●AKKODiSで実施しているプロジェクトマネジメント研修

アカデミーサービスでは、18の分野にわたるテックコンサルタント（以下、TC）約10,000人の育成に取り組んできた研修実績やノウハウを活かし、お客様の課題解決に直結す

る多くのラインアップを取り揃えています。

プロジェクトマネジメントにおいて社内ではPM認定制度を設け、受講、試験を通じTCが自身のスキルを高められるよう支援しています。お客様に対しては、固有の課題・問題を詳細にヒアリングしたうえで、あるべき姿を実現し、業務に直結できるコンテンツをご用意しています。当社プロジェクトマネジメント講師は全てPMP®を有しており、講師自らも常にアップスキリングを行い、現場を意識した研修を提供しています。

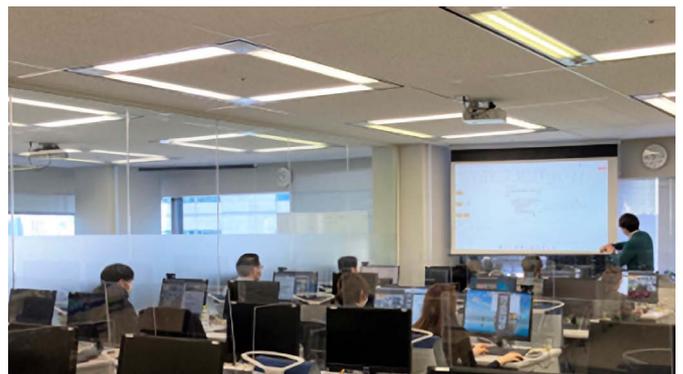
■当社では、プロジェクトマネジメントスキルは経験期間や量ではなく、正しい知識をベースとして実践できるかどうかを重要と考えています。

PM認定制度では、当社TCに向け正しい知識と実践の場の提供を目的として、入門編から大規模プロジェクトを念頭としたものまで4段階の難易度を準備。経歴によらずスムーズにスキルを向上できるよう工夫しています。

研修は、座学によるインプットと、ワークなどのアウトプットをバランスよく合わせ、実践的なスキルを習得できるよう構成。効果測定も認定試験や面接による評価を行います。

研修結果は、社内のスキル認定制度と連動し、プロジェクトへ参画するための情報として活用が始まっています。

（岡本誠司講師, PMP）



Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■ AKKODiS コンサルティング株式会社

■多くのお客様から「まず、プロジェクトマネジメントを体系的に学びたい」というご要望をよくいただきます。当社では、PMBOK®7での価値創出に加え、学んだ内容を実務に活かせるようプロセス群実務ガイドをベースとしたコンテンツをお客様のご要望に合わせてデザインして提供しています。当社は“プロジェクトは人によるもの”である以上、人を巻き込む力、パワースキルが重要と考えています。体系的なプロセススキルに加え、パワースキルを身に着的けていただくことで、実際にプロジェクトを動かせるプロジェクトマネジャーが誕生するからです。

(坂本芳湖講師, PMP)

● パワースキルの重要性

プロジェクトを進める上でパワースキルが重要であることは前述しましたが、ここではその理由を掘り下げて解説します。当然のことながら、プロジェクトは一人で進めるものではありません。プロジェクトマネジメントの正しい知識を得て、緻密な計画や事前準備ができたとしても、それを実行するのはメンバーです。プロジェクトを成功に導くには、メンバーの心に火をつけ、巻き込み、主体的に動いてもらうパワースキルが、プロジェクトマネジャーには求められます。

プロジェクトマネジャーはチームを鼓舞し、目標に向かって導く責任があります。つまり最も重要なのはリーダーシップです。そのプロジェクトの目的は何か、成功によってどのような価値創出ができるのかを明確に伝えることで、メンバーは動機付けされます。

しかし、そうして始まったプロジェクトも、進めていく過程で、「メンバーが期待通りに動いてくれない」、「意見の違いからメンバーの不信感が高まる」、「ミーティングをしても結論がでない」など、様々な障壁が現れます。こうした壁を乗り越えるために必要になるのがコミュニケーションスキルです。適切な会話や対話を通じて、メンバーとの関係の質が高まり、プロジェクトの成功に不可欠なサポートや理解を得ることができます。

また、プロジェクトの状況は常に変化するため、プロジェクトマネジャーはその変化に適応し、柔軟に対応する必要があります。“想定通りに進まないことは当たり前”というマインドで、新しい情報や状況に対し冷静かつ適切に行動することも、プロジェクトの成功には欠かせません。これらが、プロジェクトマネジメントにおいてパワースキルが重要な理由です。

● AKKODiS が提供するパワースキル研修

AKKODiSではパワースキル研修も充実しています。自身の考えを分かりやすく伝え、相手の共感を得るための「説明力研修」、意見の対立をポジティブな方向に転換させる「アサーティブコミュニケーション研修」、ミーティングの生産性を高める「ファシリテーション研修」といったコミュニケーションスキルから、予期せぬ事態に対応するための「問題解決研修」、その前提となる「ロジカルシンキング」などの思考系スキルまで、プロジェクトを進めていく際に必要なパワースキル全般のテーマを取り揃えています。全ての研修において、お客様の問題・課題を具体的にお聞きした上で、オリジナルの研修をデザインします。

● AKKODiS が考える、今後のプロジェクトマネジメント研修

■当社はTCを派遣するビジネスから、コンサルティングやソリューション提供により、総合的にお客様の課題を解決する企業へと変革する道を踏み出したばかりです。その変革を支えるのは体系的な知識とスキルを有し、柔軟なプロジェクトマネジメントができる人財に他なりません。これまで我流でPMを行ってきたシニアメンバーや、これからPMに携わる若手TCに、体系的なプロジェクトマネジメントを習得してもらうことが必須です。それと同時に、プロジェクトマネジャー不足に課題をもつお客様に寄り添い、カスタマイズした研修やPMガイドラインをご提供することも重要な使命だと考えています。(杉森俊介講師, PMP)



天王洲トレーニングセンター

業界最大級のトレーニングセンター（500名収容、2,255㎡）を東京・天王洲アイルに保有しています。最新のデジタル機器を備え、IT分野・研究開発分野における技術研修からビジネス研修に至るまで幅広く対応しています。

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■AKKODiSコンサルティング株式会社

■「プロジェクトマネジメント」と聞いて、難しいもの、手間がかかるものという先入観から、関わりを回避してきたという方も少なくないと思います。PMについて分かりやすくお伝えすることで「それなら自分もできそうだ」という感覚をもっていただき、マネジメントする立場になった時に、自信をもって進められるようになることを目指した研修を実施いたします。 (片岡麻己講師, PMP)

●プロジェクトマネジメントとともに

プロジェクトマネジャー不足という事実は、プロジェクトマネジャーが活躍できる場がすでに多く準備されているという事です。プロジェクトをマネジメントしていくことは決して簡単なことではありません。しかし、プロジェクトの進行とともに、チームメンバー、ステークホルダーとの協業

を一番強く感じることができるのがプロジェクトマネジャーです。課題を解決するだけでなく、価値を創出できるプロジェクトマネジャーを多く育成できるよう、AKKODiSは今後も取り組んでまいります。

AKKODiSコンサルティング株式会社

住所 : 東京都港区芝浦3丁目4番1号
グランパークタワー3F
代表者 : 代表取締役社長 川崎 健一郎
ウェブサイト : www.akkodis.co.jp/

The logo for AKKODiS features the letters 'AKKODiS' in a bold, sans-serif font. The 'A' and 'K's are dark blue, while the 'O's and 'D' are a lighter blue. The 'i' is a small, dark blue lowercase letter, and the 'S' is a dark blue uppercase letter.

Activities / 支部活動

行政コミュニティの立ち上げについて

PMI日本支部 副会長 浦田 有佳里

PMI日本支部には3つのスポンサー制度があります。法人スポンサー、アカデミックスポンサー、そして、行政スポンサーです。昨年、創立25周年記念事業の一環として、行政スポンサーイベントを開催しました。行政に携わる方や地域での課題解決に向けて活動される方、興味がある方へのイベントです。当日は、お二人にご登壇いただき、非常に興味深いお話をいただきました。

元姫路市デジタル部門主幹で総務省地域情報化アドバイザーをされているCocreCoコンサルティング合同会社代表の原秀樹氏からは、「住民も自治体職員も！マイナンバーカード活用の秘訣・デジタル田園都市国家構想TYPE3への道のり」というテーマで、また、叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部学部長・教授の保井俊之氏からは、「ウェルビーイングなまちづくり居住先として選ばれるまちになる、ウェルビーイング指標の使い方」と題してお話いただきました。

また、2023年7月に開催したPMI日本フォーラム2023では、広島県福山市の副市長にご講演いただき、行政でのプロジェクトマネジメントの導入について、非常に多くの方々から反響をいただきました。

このような活動を続けていく中で、行政や地域での取り組みとプロジェクトマネジメントに興味を持つ方も多くいらっしゃるようになってきました。このような中、コミュニティ組織という会員・非会員問わずに参加できる組織形態で行政へのプロジェクトマネジメントの研究や普及を推進してはどうかと考えました。2024年のはじめにこの行政コミュニティ立ち上げのためのメンバー募集を行った際には、35名の会員の方々が手をあげてくださり、どのような活動を行いたいのか、ディスカッションを重ね、企画をたてました。

2月の理事会では、行政コミュニティの立ち上げが承認され、コミュニティ・メンバーの募集が始まりました。行政コミュニティの概要は、以下のとおりです。

25周年企画：行政スポンサーイベント

住民も自治体職員も！マイナンバーカード活用の秘訣・デジタル田園都市国家構想TYPE3への道のり

自治体現場でマイナンバーカードの活用、デジタル田園都市国家構想への取組み、また、総務省地域情報化アドバイザーとしての活動を通じて得た経験・知見に基づき、自治体デジタル化・DXに必要な観点についてお話しいただきます。

講師：CocreCoコンサルティング合同会社 代表 原 秀樹 氏
(元姫路市デジタル部門主幹) 総務省地域情報化アドバイザー



◆行政コミュニティとは

「行政コミュニティ」は、行政や行政を通じた地域の取組みの価値創出に貢献することを目的に設立したコミュニティです。PMI日本支部のコミュニティとして活動しており、PMI日本支部会員以外の方もご参加いただけます。

◆設立背景

DXや脱炭素など地方自治体や省庁の取組みが難易度の高いプロジェクトになってきています。このような状況下において、行政や行政を通じた地域の取組みを推進するためには、プロジェクトマネジメントの普及が必要と考え、「行政コミュニティ」を設立しました。

25周年企画：行政スポンサーイベント

ウェルビーイングなまちづくり居住先として選ばれるまちになる、ウェルビーイング指標の使い方

ウェルビーイングな地域政策の研究者で、デジタル田園都市 国家構想のウェルビーイング指標（LWC指標）の指標のひとつの作成作業に参加した経験をもとに、ウェルビーイングの基礎、誰もが幸せを実感できる地域づくり、ウェルビーイング指標の活用の仕方などについて、お話しいただきます。

講師：叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部学部長・教授 保井俊之氏

Activities / 支部活動

■行政コミュニティの立ち上げについて

◆活動方針

「行政コミュニティ」の活動方針は以下3点となります。

- 地方自治体や省庁はそれぞれ多様な背景があり、文化があるため、私たちができることは何かを考え、活動する。
- ひとつひとつの活動が全体（行政・地域）の価値を最大化できるように活動する。
- 行政や行政を通じた地域の取組みに活用できるアウトプットを作成し、提供する。

◆主な活動内容

行政コミュニティでは、『研究系WG』と『運営系WG』に大きく分けて活動しています。各WGの活動内容は以下の通りです。

【研究系-1】行政ツールボックスWG

行政向けマネジメントテンプレート(行政ツールボックス)を作成するWGです。PPPMやアジャイルについても段階的に取組む予定となっています。

【研究系-2】事例調査WG

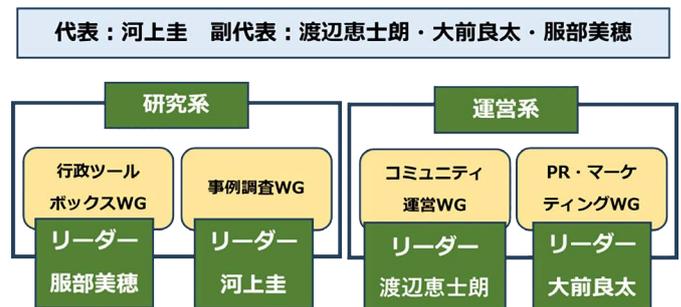
行政のプロジェクトマネジメント事例を収集し、調査研究するWGです。

【運営系-1】コミュニティ運営WG

定例会（勉強会）運営やイベントの企画・実施、メンバー間のコミュニケーション促進等、コミュニティ運営を推進するコミュニティのPMOとして活動しています。

【運営系-2】PR・マーケティングWG

PMIJ・自治体通信のWebサイトやメルマガ、行政スポンサーとの連携等を通じて、プロモーションや自治体・省庁への働きかけを行うWGです。



行政や行政を通じた地域の取組みプロジェクトに関して、多くの方々の興味があることが分かり、また、そのようなプロジェクトにPMI日本支部が貢献できるのではないかと感じる方も多く、行政というまだPMI日本支部が貢献できていない分野での活動に立ち上げメンバーは非常にワクワクしています。

また、コミュニティという組織形態により、多くの行政職員の方々、地域の方々にも参加いただきながら、活動を進められればと考えています。

今後も多くのメンバーに参加いただき、行政や行政を通じた地域の取組みにプロジェクトマネジメントで貢献できるような活動を進めていきます。皆さま、お楽しみに。

また行政コミュニティへのご参加もお待ちしています。

PM Calendar / PMカレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。
詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中・準備中】

■ PMI日本支部関連セミナー／ワークショップ

● 3月度 関西セミナー

- 日時：3月30日(土) 13:00～15:00
- 形式：ハイブリッド開催
(オンデマンド配信は4月7日まで)
- 場所：ニッセイ新大阪ビル11F
- 2PDU

● プログラムマネジメント実践ワークショップ

- 日時：4月12日(金) 9:30～18:00
- 形式：リモート開催
- 7PDU

● 4月度 月例セミナー

- 日時：4月19日(金) 19:00～21:00
- 形式：会場開催 (オンデマンド配信は4月末まで)
- 場所：エッサム神田ホール2号館
- 2PDU

■ PMI日本支部関連イベント

● PMI日本フォーラム 2024

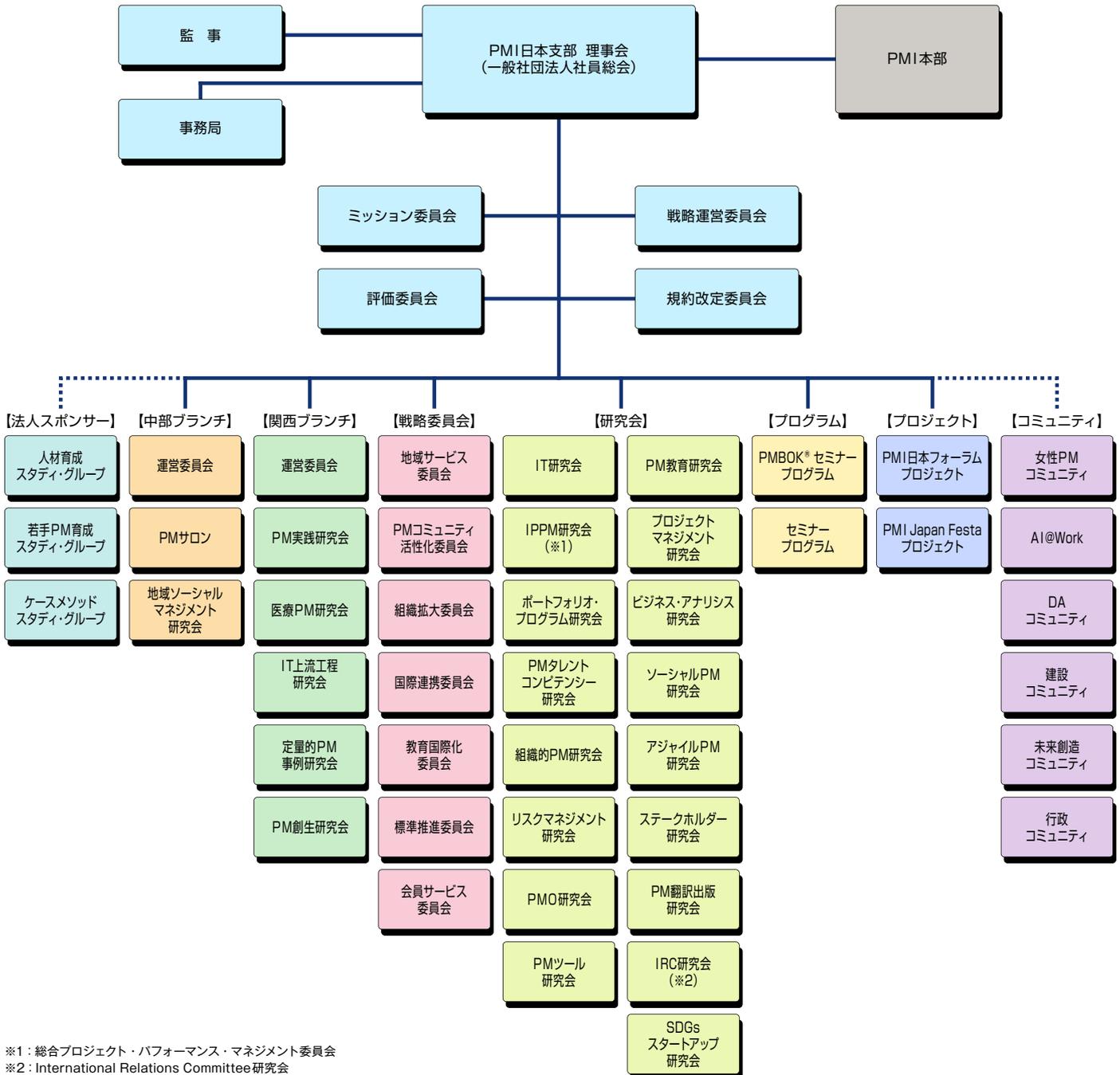
- ハイブリッド開催 (秋葉原)
- 現地・リアルタイム配信：2024年7月6日(土)～7日(日)
- オンデマンド配信：2024年8月末まで

*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

■ 支部活動 (2024年3月現在)



■ 理事一覧 (2024年3月現在)

会長	端山 毅	株式会社NTTデータグループ
副会長	麻生 重樹	日本電気株式会社
副会長	浦田有佳里	国立研究開発法人情報通信研究機構/ナショナルサイバートレーニングセンター
副会長	奥澤 薫	KOLABO
副会長	斉藤 学	スカイライト コンサルティング株式会社
副会長	森田 公至	DXCテクノロジー・ジャパン株式会社

(以下、五十音順)

理事	有坂 寿洋	株式会社日立アカデミー
理事	稲葉 涼太	株式会社Flexas Z
理事	井上 雅裕	慶應義塾大学/芝浦工業大学/ISAL
理事	小川原陽子	日本アイ・ビー・エム株式会社
理事	鬼東 孝則	Ridgelinez株式会社
理事	金子啓一郎	三菱電機株式会社
理事	杉原 秀保	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
理事	千葉 昌幸	株式会社三菱総合研究所
理事	中村 亜子	株式会社パーソル総合研究所
理事	永合由美子	東京大学/(特非)日本女性技術者科学者ネットワーク/(特非)女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト
理事	藤井 新吾	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
理事	藤原 慎	株式会社NTTデータユニバーシティ
理事	松本 弘明	株式会社ローソン銀行
理事	水井 悦子	エンパワー・コンサルティング株式会社
理事	保井 俊之	広島県公立大学法人/叡啓大学
理事	山本 智子	川崎医療福祉大学
理事	除村 健俊	サイバー大学/芝浦工業大学
理事	渡辺 敏之	日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ)
監事	片江 有利	株式会社システムコストマネジメント
監事	三嶋 良武	エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社
監事	山中 良文	自営業者

■ 最新の会員・資格者情報 (2024年2月29日現在)

会員数 (人)	
PMI 本部	日本支部
723,007	6,147

資格保有者数 (人)												
PMP®		PMI-SP®	PMI-RMP®	PgMP®	PMI-ACP®	PfMP®	PMI-PBA®	CAPM®	DASM®	DASSM®	DAC®	DAVSC®
世界全体	日本在住											
1,492,284	45,547	8	19	30	456	16	21	614	60	49	14	5

■ 行政スポンサー (2024年3月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市
- 広島県 福山市
- 広島県総務局 県庁情報システム担当

■ 法人スポンサー 一覧 (116社、順不同、2024年3月現在)

- TIS株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- 株式会社インテック
- キヤノンITソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTTデータグループ
- プラネット株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ビューレット・パッカード合同会社
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- BIPROGY株式会社
- JBCC株式会社
- 株式会社パーソル総合研究所
- 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立アカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研DCS株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 東芝テック株式会社
- 三菱電機ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- 株式会社NTTデータ アイ
- 日鉄ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮グローバル株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- 株式会社JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社システム情報
- 住友電気情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- NDIソリューションズ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS&A株式会社
- ロジスティードソリューションズ株式会社
- SCSK株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社
- SOMPOシステムズ株式会社
- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS&ADシステムズ株式会社
- リコージャパン株式会社
- SBテクノロジー株式会社
- 株式会社インテージテクノスフィア
- 株式会社ネクストスケープ

Fact Database/データベース

- ・伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- ・株式会社オーシャン・コンサルティング
- ・株式会社リクルート
- ・JFEシステムズ株式会社
- ・アドソル日進株式会社
- ・キヤノン株式会社
- ・ビジネスエンジニアリング株式会社
- ・大日本印刷株式会社
- ・サイフォーマ株式会社
- ・I&Jデジタルイノベーション株式会社
- ・株式会社NTTデータ・ニューソン
- ・キーウェアソリューションズ株式会社
- ・NECソリューションイノベータ株式会社
- ・株式会社パスコ
- ・アベールソリューションズ株式会社
- ・MIデジタルサービス株式会社
- ・エス・エー・エス株式会社
- ・明治安田システム・テクノロジー株式会社
- ・テルモ株式会社
- ・TOPPANエッジ株式会社
- ・ペルノックス株式会社
- ・キンドリルジャパン株式会社
- ・株式会社ヒューマンテクノシステム
- ・株式会社ITプレナーズジャパン・アジアパシフィック
- ・富士電機株式会社
- ・KDDI株式会社
- ・フラッグス株式会社
- ・株式会社JQ
- ・株式会社PE-BANK
- ・三菱電機エンジニアリング株式会社
- ・Smartsheet Japan株式会社
- ・アイエックス・ナレッジ株式会社
- ・AKKODiS コンサルティング株式会社
- ・株式会社エヌ・ティ・ティ・データ CCS
- ・キンドリルジャパン・テクノロジーサービス株式会社
- ・ネットワンシステムズ株式会社
- ・PMアソシエイツ株式会社
- ・Asana Japan株式会社
- ・イノベーションフレームワークテクノロジー・プラニスウェア株式会社
- ・株式会社ピーエスシー

■ アカデミック・スポンサー 一覧 (52教育機関、順不同、2024年3月現在)

- ・産業技術大学院大学
- ・慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- ・サイバー大学
- ・芝浦工業大学
- ・金沢工業大学
- ・九州大学大学院 芸術工学府デザインストラテジー専攻
- ・広島修道大学 経済科学部
- ・北海道大学大学院 情報科学研究科
- ・山口大学大学院 技術経営研究科
- ・筑波大学大学院 システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- ・早稲田大学ビジネススクール
- ・早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- ・公立大学法人 広島市立大学 大学院情報科学研究科
- ・国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- ・大阪大学大学院 工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- ・愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- ・国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- ・京都光華女子大学
- ・鹿児島大学 産学・地域共創センター
- ・千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- ・京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究センター
- ・北海道情報大学
- ・山口大学 工学部知能情報工学科
- ・川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科および大学院医療秘書学専攻
- ・青山学院大学 国際マネジメント研究科
- ・公立大学法人 公立はこだて未来大学
- ・慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 飯島研究室
- ・就実大学 経営学部 経営学科
- ・神戸女子大学 家政学部家政学科
- ・明石工業高等専門学校 建築学科大塚研究室
- ・サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- ・北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 敷田研究室
- ・中京大学 情報センター
- ・法政大学専門職大学院 イノベーション・マネジメント研究科
- ・札幌学院大学
- ・国立研究開発法人 理化学研究所 生命機能科学研究センター
- ・岡山大学 教育研究プログラム戦略本部 戦略的プログラム支援ユニット (URA)

- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人 国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室
- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 サービスシステムデザイン研究室
- 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部情報文化学科
- 地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター
- 中央大学 国際情報学部
- 福岡工業大学 情報工学部システムマネジメント学科
- 学校法人 角川ドワンゴ学園 経験学習部
- 第一工科大学 東京上野キャンパス
- 公立大学法人大阪 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター
- 東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科 森本研究室